

埼接ミニ情報

24年7月号

発行
 (公社) 埼玉県接骨師会
 企画総務部

7月27日よりロンドンオリンピックが始まりました。知人の柔道整復師は、先月半ばより、外国の柔道ナショナルチームのメディカルとして帯同しています。彼は、大変な苦勞と年数をかけその国の大学で博士号を取得しました。きっと今頃は、背中に柔道整復師を背負い、いきいきと奮闘していることと思います。

柔整校の同窓会で、若い柔道整復師の研究発表を数題聞きました。彼らは、専門学校で資格取得後、さらに大学の門戸をたたき、大変な努力の末、修士、博士課程を修了しています。そして、現在でも、教育に携わる傍ら研究の日々を送っています。テーマ設定、データ集積手法・数・その分析方法等、科学者の視点での発表には深い感慨を覚えました。彼らを支えているのは「自分の職業である柔整の将来的な発展の一助になりたい」という高い志であることをその講演から感じました。

教育機関、業界、学会が機能的に連携し、互いに影響しあい相乗効果を生み続けることが、医療の世界でその職業が存続・発展していくのに不可欠だと言われます。柔整業界では、教育界、学会は少しずつですが着実に変化をしています。では、業界はどうでしょう。埼接においても、従来の発想・手法をただ踏襲するだけではなく、環境や制度の変化にダイナミックに対応し、主張すべきところは論拠を持って、堂々と行政や保検者と渡り合うスタンスが今後は必要になってきます。

療養費を中心に厳しい状況が続いていますが、柔整の将来像をしっかりと描き、諸問題に対して会員と執行者が一丸となり立ち向かっていくことが今後ますます必要となってきます。

【公益社団法人移行記念式典及び祝賀会について】

既にご案内のように、平成24年9月23日(日)パレスホテル大宮に於いて「公益社団法人移行設立記念式典及び祝賀会」を、行政、政界、業界から多数のご来賓の方々を招待して開催いたします。

開催趣旨は、公益社団法人移行を機に、関係機関との連携と政治力の強化、及び公益社団法人移行に際し功績のあった会員等の表彰です。現在、来賓のリストアップを各支部の意見も取り上げ行っています。柔道整復師及び業界に対する正しい認識と、医療の中の柔道整復師の必要性を強くアピールする有意義な会にしたいと考えています。

【埼玉県への平成25年度予算編成に対する要望】

自民党埼玉県連より、『平成25年度埼玉県への施策並びに予算編成に対する団体要望書』提出依頼がありましたので、下記の4項目を要望していく予定です。

- ・埼玉県内全柔道整復師を対象とした保険業務講習会の開催
- ・福祉医療における柔整療養費の一部負担金現物給付化の県内統一化
- ・地域支援事業への柔道整復師のさらなる参入
- ・県と本会の防災協定締結

【埼接学術講演会(公開講座)参加者募集のお願い】

一般公開講座埼接学術講演会が、今年度は浦和駅東口パルコ内の浦和コミュニティセンターにて、11月11日(日)午前10時～12時の予定で開催されます。会場は約400名収容可能で、アクセスも駅前非常に良いところです。講演も一般の方々に必ず喜んでもらえる内容ですので、埼接や柔道整復師を理解していただく絶好の機会でもあります。会館外で行う初めての試みですが、何としても成功させなければなりません。ご家族、お知り合いの方々を多数お誘いください。会場が熱気であふれる素晴らしい講演会にしたいと思っております。会員の皆様のご協力を心よりお願いいたします。

【第5回埼接理事会報告】

平成24年7月24日 第5回理事会が開催され、諸規程では「支部長会規程」が承認されました。今後支部長会は、本会と各支部の連携に重要な会として、各支部支部長及び正副会長並びに専務理事で構成することとなります。また、新たな顧問として、埼玉県柔道連盟会長 中島政司先生、西大宮病院長 関 純先生を推戴し承認されました。後日執行者が訪問し依頼する予定です。その他の議案については広報誌にて報告いたします。

【戸田市と防災協定締結へ】

仲谷浦和支部長を中心とした、浦和支部会員のご尽力により、戸田市と本会が8月20日戸田市役所に於いて防災協定を締結することとなりました。医療救護チームに対し柔道整復師が協力すること、また、地域に万遍なく存在する接骨院・整骨院が救護所・避難所となることは地域医療を担う者の使命でありますし、地域における柔道整復師に対する正しい認識の向上に繋がるものです。災害の程度では、その地域だけでは対応できない場合もあることを考慮し、本会との契約締結となりました。災害は起こらないことが一番良いですが、いざという時、実際に的確に行動できるよう医療救護チームとの連携も含めた訓練がこれから必要になってきます。今後の動きについては、ミニ情報でお知らせしていきます。

【保険部】

保険者において、レセプトの縦覧チェック、患者照会により回答(負傷原因と傷病名に整合性のないもの・各部位の受傷機転が明確でないもの・外傷性の原因となっていないもの・日数の相違等)から出る疑義について関東信越厚生局へ調査依頼を実施しております。最近本会会員においても指導該当者がおります。(※例 指導において、施術録の管理がずさんで支給申請書との整合性がないため監査対象となり、受領委任5年間の停止処分となっている)

【今後の主な予定】

- ①平成24年 9月23日(日) 午前12時～公益社団法人移行設立記念式典・祝賀会
- ②平成24年 9月29日(土) 午後7時～研修会開催(スキルアップ)
埼接会館3階
- ③平成24年11月11日(日) 午前10時～『公開講座』第29回学術講演会
浦和コミュニティセンター(多目的ホール)浦和パルコ10階
- ④平成24年11月11日(日) 午後1時～第27回学術研修会
浦和コミュニティセンター(15集会室)浦和パルコ9階
- ⑤平成24年12月 9日(日) 午前10時～保険業務講習会
熊谷会館
- ⑥平成25年 2月23日(土) 午前10時～市民公開講座
東部地域振興ふれあいセンター(春日部市)

